

第15回 ピアノ教員によるコンサート

2023.9.30 SAT 17:00開演 (16:15開場) TCMホール [東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス]

全席指定 2,000円



浜野 与志男

A. スクリャービン／ピアノ・ソナタ 第10番 作品70

佐藤 彦大

W.A. モーツァルト (F.リスト編)／アヴェ・ヴェルム・コルプス
F. リスト／メフィスト・ワルツ 第1番 [村の居酒屋での踊り] S.514

橘高 昌男

G. フォーレ／即興曲 第2番 へ短調 作品31
舟歌 第3番 変ト長調 作品42

ギグラ・カツアラヴァ

A. スクリャービン／詩曲 作品32より 第1番 嬰へ長調
S. ラフマニノフ／前奏曲 作品32より 第12番 嬰ト短調
前奏曲 作品23より 第2番 変口長調

大崎 結真

S. プロコフィエフ／風刺 (サルカズム) 作品17

高田 匡隆

B. バルトーク／舞踏組曲 BB 86b Sz 77 (抜粋)



松本 和将

S. ラフマニノフ／前奏曲 作品23より 第4番 二長調
前奏曲 作品23より 第5番 ト短調
前奏曲 作品23より 第2番 変口長調

稲田 潤子

D. セヴラック／ボンパドゥール夫人へのスタンス
M. ラヴェル／「クーブランの墓」より プレリユード、トッカータ

©井村重人

2023.8.7 日 10:00より一般予約受付開始

東京音楽大学チケットサイト <https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税含む)がチケット代金とは別途かかりますので、ご了承ください。

※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。

※やむを得ぬ理由により、予告なく出演者、曲目等変更の可能性がありますので、ご了承ください。

※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。

東京音楽大学演奏会情報チャンネル

本公演は、後日、東京音楽大学 演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。



本公演は新型コロナウイルス感染拡大を受け、対策を講じて行います。詳細はチラシ裏面及び本学チケットサイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

演奏会お問い合わせ窓口

TEL 03-6379-3788

(10:00～17:00 平日のみ)

浜野 与志男 Yoshio Hamano

日本音楽コンクール第1位、野島稔・よこすかピアノコンクール最高位、マルメ北欧ピアノコンクール第1位、アルマトイ国際ピアノコンクール第2位ほか受賞。日本フィル・サントリーホール定期やロイヤル・フェスティバル・ホール（ロンドン）、モスクワ音楽院ラフマニノフホール、東京オペラシティ『B→C』、シャネル・ピグマリオン・デイズ、浜離宮朝日ホールでのリサイタルをはじめ国内外にて演奏活動を展開する。東京藝術大学音楽学部、英国王立音楽大学大学院、モスクワ音楽院にて研鑽を積む。2018年4月～2022年3月 東京音楽大学ならびに東京藝術大学音楽学部非常勤講師、2022年4月より東京音楽大学専任講師を務める。

佐藤 彦大 Hiroo Sato

東京音楽大学大学院（ピアノ・エクセレンス）修了、ベルリン芸術大学及びモスクワ音楽院において更なる研鑽を積む。在学中ロームミュージックファンデーション、明治安田クオリティオブライフ文化財団より奨学金を得る。第76回日本音楽コンクール第1位、第4回仙台国際音楽コンクール第3位、第62回マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクール第1位。東響、日本フィル、京響、仙台フィル、ビルバオ響、セビーリャ王立響等、国内外の主要オーケストラと共演。録音ではライブ・ノーツ、ベルウッド・レコードより3枚のCDをリリース。現在、東京音楽大学専任講師、桐朋学園大学非常勤講師。ミリオコンサート協会所属アーティスト。HP: <https://www.hiroosato-hikodai.com>

橘高 昌男 Masao Kitsutaka

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学を首席で卒業。大学在学中に安宅賞を受賞。第65回日本音楽コンクール第1位、合わせて野村賞、井口賞、河合賞を受賞。イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第1位ほか、ロバート・ウィリアム&エミー・ブランド国際ピアノコンクール第3位（イギリス・パーミンガム）など国内外で受賞を果たす。平成13年度文化庁在外研修員としてジュネーブ音楽院ソリストディプロム課程に入学。ソリストディプロムを取得し卒業後、パリ国立地方音楽院古楽器科フォルテピアノ専攻にて更に研鑽を積む。審査員満場一致最優秀の成績で卒業。これまで東京交響楽団、東京都交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など数々のオーケストラと共演。加えて定期的にフランス・フレーヌ他にてマスタークラスやコンサートに招聘されるなど活発な音楽活動を展開。現在 東京音楽大学、武蔵野音楽大学にて後進の指導にあたっている。

ギグラ・カツアラヴァ Guigla Katsarava

チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院でレフ・ナウモフに師事。その後、ドイツにてヴァイマル・フランツ・リスト音楽大学でラザール・ベルマンに師事し、最高位資格コンサート・ディプロムを取得して卒業。同時に、パリ国立高等音楽院でジェラルド・フレミーに師事し、第3課程を修了。演奏家としての活動は、東西ヨーロッパ、アメリカ、イスラエル、ブラジルなどでリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演を行なっている。パリ・エコール・ノルマル音楽院ソルピノ科教授を20年務めた。現在東京音楽大学特任教授。

大崎 結真 Yuma Osaki

東京藝術大学附属高等学校卒業後、イモラ音楽院、パリ国立高等音楽院で学び、「文化庁新進芸術家海外研修員」としてパリ・エコール・ノルマル音楽院にて研鑽を積む。浜松、ロン・ティボー、ルービンシュタイン国際コンクールにて最年少入賞。ジュネーブ、リーズ、ショパン（ファイナリスト）他、主要国際コンクールで受賞を重ねる。国内外のオーケストラと協演の他、近年ではスイス、ドイツ、英国各地でリサイタル、国内では「彩の国さいたま芸術劇場『エトワールシリーズ』」、「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」等に出演。また音楽雑誌の執筆、TV・ラジオ（NHK『名曲アルバム』『クラシック倶楽部』）等メディアでも活躍。第37回『日本ショパン協会賞』受賞。東京音楽大学非常勤講師。

高田 匡隆 Masataka Takada

桐朋学園大学卒業後、マンネス音楽院、ハンガリー国立リスト音楽院で研鑽を積み、イタリア国立サンタ・チェチリア音楽院を首席で卒業。「イタリア共和国大統領賞・シノーポリ賞」を日本人初受賞。第68回日本音楽コンクール第1位。第2回仙台国際音楽コンクール第2位。マリア・カラス・グランプリ優勝。モントリオール国際音楽コンクール第2位。「ワーグナー音楽祭」、「クラフ国際ピアノフェスティバル」などの音楽祭に招聘され、国内外のオーケストラとも共演。演奏活動のみならず、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールの審査など多岐に渡った活動を展開している。公益財団法人日本ピアノ教育連盟・理事。東京音楽大学非常勤講師及び桐朋学園大学非常勤講師。

松本 和将 Kazumasa Matsumoto

日本音楽コンクール優勝、全賞を受賞。ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにプラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始、東京公演・岡山公演を始め全国に広がっている。またコロナ禍を機にオンラインでも活動も積極的に取り組みはじめ、YouTube・オンラインサロン・Twitterなどで自身の演奏動画の他深い見識に基づく解説やつぶやきなどをアップし話題となっている。これまでに2枚のレコード芸術特選盤（「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」）を含む23枚のCDをリリース。東京音楽大学准教授、名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース客員准教授として、後進の指導にもあたっている。公式HP: <http://www.kaz-matsumoto.com> ツイッター: @kazmatsuki YouTubeチャンネル: <https://www.youtube.com/channel/UCrHbnjDR035kYp64utCNxmg>

稲田 潤子 Junko Inada

東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コースを最優秀賞、首席で卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ科、室内楽科ともに一等賞で卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏家資格を取得するなど研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、ソフィア国際ピアノコンクールなど国内外の数々のコンクールに優勝、入賞する。1997年モスクワで行われたラフマニノフ国際音楽コンクールピアノ部門で第3位（2位なし）を受賞。日本とフランスを中心とした各国で演奏活動を行い、リサイタル、室内楽の他、テレビ、ラジオにも多数出演。モスクワ交響楽団、ソフィア放送管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など国内外の多くのオーケストラと共演。また、ファーストアルバム「TABLEAUX」、ヨーロッパCDデビューアルバム「Sergei Rachmaninov」をリリースしている。東京音楽大学准教授。

【東京音楽大学主催演奏会 運営について】

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



《会場案内》

東京音楽大学 <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>
 中目黒・代官山キャンパス
 TCMホール（ホール入口は3階 代官山駅側）
 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩4分
 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを目指すこととします。

- | | |
|--|---|
| <p>3 <small>すべての人に健康と福祉を</small></p> <p>3. すべての人に健康と福祉を
演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。</p> | <p>11 <small>住み続けられるまちづくりを</small></p> <p>11. 住み続けられるまちづくり
演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。</p> |
| <p>4 <small>質の高い教育をみんなに</small></p> <p>4. 質の高い教育をみんなに
演奏会は、生涯学習の一端を担います。</p> | <p>16 <small>平和と公正をすべての人に</small></p> <p>16. 平和と公正をすべての人に
演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。</p> |
| <p>10 <small>人や国の不平等をなくそう</small></p> <p>10. 人や国の不平等をなくそう
演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。</p> | <p>17 <small>パートナーシップで目標を達成しよう</small></p> <p>17. パートナーシップで目標を達成しよう
演奏会には、大勢の人との協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深く、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。</p> |